

エルモボードお客様活用事例

オフィス藤田有限会社 様

オンライン研修に欠かせないツールとして、
ITリテラシー向上の立役者として、
利用価値を高めていきたい。



これまでの課題

- ・ホワイトボードを用いた研修では、記入時に幅が足りなくなると裏返したり、消して書き足すことを繰り返すため、内容の振り返りが困難
- ・遠隔地とのオンライン研修やアクティブラーニングの場では、相互の情報共有が難しい
- ・介護業界のITリテラシーが低く、労務管理などの業務がアナログ中心



エルモボード導入後

- ・資料を事前に記憶させてすぐに呼び出せたり、その場で書き込めたり、ページを戻して再確認するなど、研修の効率化を実現
- ・その場で必要となったものは書画カメラを用いて取り込み、瞬時にデータ化して反映が可能
- ・タッチパネルの利便性を活かし、労務管理や勤務シフトなどをタッチして更新できる仕組みを随時開発・反映中

オンライン研修を行うには、ホワイトボードでは多くの制限がある。
その葛藤を一手に払拭してくれたのが、エルモボードでした。

⇒ エルモボード導入のきっかけは何でしたか？

2002年に創業した当社は、当時はまだ誤った認識をされることの多かった認知症介護に着目し、「ご利用者自身が選択した場所で生活を続けられる」ことを目標とし、「ご利用者様の生活に私たちが合わせる」という独自の方針を打ち出しました。それがゆくゆくは当社の強みになると思ったんですね。最近はその想いが浸透してきたのか、徐々に「認知症で困ったらオフィス藤田に相談に行く」という嬉しいお言葉も数多く頂戴するようになりました。

しかし、介護に関わる方に私たちの想いを直接伝えるには限界があります。もっと多くの従事者に、介護の喜びや働き甲斐を感じてもらいたい。そこで研修事業を立ち上げたところ、法定研修等の講師も担い、徐々に介護保険事業所や老施協、看護学校からも依頼されるようになりました。最近はオンラインで研修を行うことも増えてきましたが、ホワイトボードでは記述量や振り返りにどうしても限界が生じます。そんな時に「これだ!」と思ったのが、エルモボードだったんです。



代表取締役 古城裕喜 様

ご協力企業様 プロフィール

- 社 名 オフィス藤田有限会社
- 設 立 2002（平成 14）年 5 月
- 代表取締役 古城 裕喜
- 本 社 鹿児島県薩摩川内市永利町 1036-1 TEL. 0996-22-3961（代表）
- 従業員数 47 名（2022 年 4 月末現在）
- 事業内容
 - ・認知症の方とその家族の生活全般を支援するグループホームとデイサービス
 - ・在宅療養の暮らしを支援する訪問看護・居宅介護支援事業所
 - ・認知症を患う方や家族のこころを支える認知症カフェ
 - ・専門的な知識を提供し働きがいを支える研修事業部



※インタビューはマスク着用で実施しています。

まるで一冊のノートのように、ページをめくる感覚で活用できる。 アクティブラーニングにも適した、多用途ツール。

⇒ エルモボードの活用方法は？

やはりオンライン研修での利用が多いですね。パワーポイントを組み込み、アクティブラーニングを介して知識と出来事を結び付け、研修後には受講した皆さんに現場で役立ててもらおうことが主な目的です。導入前まではホワイトボードを用いていましたが、アクティブラーニング形式で進めていくと「この出来事をこう解釈すると、それが派生してこうなっていく」と樹形モデルとして広がっていくんです。ところがその流れでホワイトボードを裏返したり、消して上書きしていくと、少し前のフェーズに戻れなくなるんですね。でもエルモボードだと、ページをめくる感覚でどの段階にも瞬時に戻せるし、ノートのように色文字で書いたり消したりも出来る。話し合い、情報を共有し、相互理解していく研修プロセスでは、振り返って「なるほど、こういうことだったんだ」という確認はとても大切なので、本当に導入して良かったと思っています。あと当社では直営の「グループホーム燦々(さんさん)」にもエルモボードをもう1台設置しています。ここでは職員の研修はもちろん、タッチパネル機能を活用した労務管理ツールとしても大活躍していますよ。



直営の「グループホーム燦々(さんさん)」にもエルモボードが設置され、ご利用者とのコミュニケーションツールとしても活用されている。

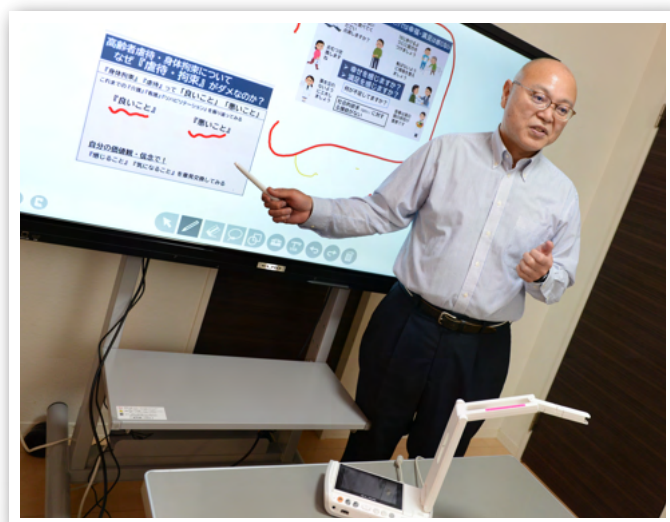


業界のITリテラシーをいかに向上させていくのか。 その一翼を担うデバイスとして、利用価値を高めていきたいですね。

⇒ 今後、エルモボードをどう活用されたいですか？

介護業界は、まだまだITリテラシーが低い業界です。しかしコロナ禍を経験し、リモート会議やオンライン研修は今やスタンダードになりつつあります。それをチャンスと捉え、エルモボードのようなデジタル機器やパソコンに投資して業界を変革していくことが今後重要になってくるでしょう。

エルモボードには様々な機器やソフトが組み込めるので、いま色々なトライアルを行っているところです。オンライン研修では参加者に同じ画面を見てもらいながら進みますから、その場で必要となったものは書画カメラを用いて取り込み、瞬時にデータ化して反映させられるのは効果的です。またOneNoteのディクテーション機能を使い、発表の音声を画面上で文字に変換する試みも行っています。当社は今夏から看護小規模多機能という新しい事業をスタートさせる予定です。自由度が高まる部分をデジタル機器を介してどう展開していくのか、その中心的なデバイスとして、エルモボードには大きな期待を寄せています。



テクノホライズン株式会社 エルモカンパニー
〒457-0071 愛知県名古屋市南区千竜通二丁目13番地1
<https://www.elmo.co.jp/>

□札幌オフィス
□仙台オフィス
□盛岡サテライトオフィス
□宇都宮オフィス
□東京サテライトオフィス
□長野オフィス
□高崎サテライトオフィス
□名古屋オフィス
□大阪オフィス
□京都サテライトオフィス
□金沢サテライトオフィス
□姫路オフィス
□広島オフィス
□岡山サテライトオフィス
□福岡サテライトオフィス
□鹿児島オフィス
□熊本サテライトオフィス

〒060-0908 札幌市東区北8条東3丁目1-1 宮村ビル3階
〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花京1-1-10 あいおいニッセイ同和担保 仙台ビル14階
〒020-0021 岩手県盛岡市中央通三丁目1番2号 盛岡第一生命ビルディング8階
〒320-0811 栃木県宇都宮市大通り四丁目1番18号 宇都宮大同生命ビル8階
〒108-0075 東京都港区港南2丁目16番4号 品川グランドセントラルタワー17階
〒261-8501 千葉県美浜区中瀬1-3 幕張テクノガーデンビル東中央館(CD)5階
〒391-0213 長野県茅野市豊平5239番地1
〒370-0841 群馬県高崎市栄町16-11 高崎イーストタワー10F
〒457-0078 名古屋市中区南區通1丁目3番地4号
〒541-0053 大阪府中央区本町4-3-9 本町サンケイビル7F
〒604-8101 京都府京都市中京区柳馬場通御池下る柳八幡町65 京都朝日ビル10階
〒920-0919 石川県金沢市南町6-1 朝日生命金沢ビル10階
〒670-0912 兵庫県姫路市南町63ミツビル1階
〒730-0012 広島市中区上八丁堀4-1アーバンビュグランドタワー1104
〒790-0011 愛媛県松山市千舟町五丁目5番地3 EME 松山千舟町ビル8階
〒901-2225 沖縄県宜野湾市大謝名90番地3 Link58 602
〒812-0039 福岡市博多区冷泉町2番8号 朝日プラザビル2階
〒892-0846 鹿児島市加治屋町12番7号 鹿児島加治屋町ビル402号室
〒862-0976 熊本県熊本市中央区九品寺1丁目11番4号 熊本県教育会館4階

TEL011-594-8450 FAX011-594-8451
TEL022-266-3255 FAX022-266-3253
TEL022-266-3255 FAX022-266-3253
TEL03-3471-4577 FAX03-3471-4433
TEL03-3471-4577 FAX03-3471-4433
TEL03-3471-4577 FAX03-3471-4433
TEL03-3471-4577 FAX03-3471-4433
TEL03-3471-4577 FAX03-3471-4433
TEL052-811-5261 FAX052-811-5142
TEL06-6443-6001 FAX06-6251-1568
TEL075-744-1360 FAX075-744-1361
TEL06-6443-6001 FAX06-6443-6006
TEL079-257-1636 FAX050-3457-8704
TEL082-221-2801 FAX082-221-2802
TEL082-221-2801 FAX082-221-2802
TEL082-221-2801 FAX082-221-2802
TEL092-281-4131 FAX092-281-4133
TEL096-282-8338 FAX096-282-8337
TEL096-282-8338 FAX096-282-8337

※記事案書の内容は2022年4月現在のものです。 ※仕様は予告なく変更されることがあります。